



十中だより

令和2年5月21日発行

文責：奈加 晃典

めざす生徒像

- ☆自ら進んで学び、考えて行動できる生徒(確かな学力)
- ☆勤労と責任を重んじ、礼儀正しく協力できる生徒(豊かな人間性)
- ☆自他の生命を尊重し、心身を鍛える生徒(健やかな体)

校訓

自主 協働 剛健

通常授業が再開されました。

4月13日(月)から臨時休校となり、大変長い間学校に登校できない日が続きました。

新入生のみなさんは4月8日に入学式をしたのもつかの間、すぐに休校となってしまう、少しの分散登校はしたものの、通常の中学校生活を送ることができず、大変心配した日々であったと思います。

新しい制服に身を包み、友達と一緒に勉強や部活動に頑張ろうと思っていた矢先のこと、生徒本人はもとより、ご家族の方々も大変な日々であったと思います。しかしながら、緊急事態宣言は解除になったとはいえ、コロナウイルスの蔓延が収束したわけではありません。できる限りの対策を講じつつ、徐々に通常の学校生活を取り戻していきたいと考えていますので、これからも引き続き感染予防をしっかりとおこなったうえで登校して下さい。

さて、生徒のみなさんは登校できなかった日々をどのように過ごしていたでしょうか。外で友達と遊ぶこともできない。家族での外出もできる限り控えなくてはならない。本来であれば部活動等で身体を動かしていたのにそれもできない・・・

最近では色々なゲーム機や、スマートフォン、タブレット等の普及で、それなりに時間は活用できたと思いますが、昼夜逆転の不規則な生活になっていなかったでしょうか。いよいよ、学校生活を再スタートすることになったわけですから、まずは規則的な生活を取り戻しましょう。



今後、コロナウイルス蔓延の第2波や第3波が来ないとも限りませんし、自然災害の発生もあるかも知れません。そんなときに思い出して欲しい言葉があります。

「与えられた物をこなす必要がないときこそ 自分で考えて成長できる時」

こう捉えることで、時間を有効活用しようという気持ちがわきやすいのではないかと思います。

これからは何事もなく通常の学校生活を取り戻し、安全で安心な生活を送ってほしいと願うばかりではありますが、今後も予知できない災害や目に見えない敵と戦っていかなければならないことは変わりません。

教科担当教師からのプリントやオンラインの授業はあったとしても、学校での授業に比べて不十分になることも考えられます。そんな時こそ、この言葉を思い出して、自分の考えで時間を有効活用したいものです。

今後の学校行事等について

コロナウイルスの蔓延防止のため、様々な学校での活動を中止せざるを得ないことになっています。現時点での今後の大まかな予定を書かせていただきます。

1学期終業式・・・7月31日(金)

2学期始業式・・・8月17日(月)

夏期休業を短縮することで、4月からの休業中の授業を確保します。

・5月21日(木) 22日(金) 中間テスト 中止

・6月5日(金) 授業参観・進路説明会 中止

・6月24日(水)～26日(金) 期末テストは7月6日(月)～8日(水)に延期

・県中学校総合体育大会 中止

その他にも今後検討していくなかで、延期や中止にしなければならないことがたくさん出てくる可能性があります。

生徒の健康を最優先させることを第一に考えていきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いいたします。

オンライン授業もいいが・・・

コロナウイルスのおかげとは言いませんが、村からは防災タブレットの予備を配布してもらい、オンラインの授業ができるように整備してもらいましたし、今後国や県からも近い将来タブレットが配布され、本格的に遠隔授業のための整備がますます進んで行くと思われれます。

もちろん、そういった整備自体は良いことですし、時代と共に教育のあり方も変わって行くでしょう。しかしながら、学校という場所に来て友達と共働生活をし、教師が子供に対峙してこそ得ることのできる教育もあるはずだと思っています。遠隔授業で、すべてがまかなえることはないと思っています。

英オックスフォード大では、今後10年で47%の仕事がコンピュータ化され、今入学した小学生たちの65%は、今は存在していない仕事に就くであろうと言われています。しかしながら、今後AI(人工知能)が様々な分野で人間を超えるような活躍をしても、人が人を教えるということの難しさや大事さを、人以外にまかせることのない社会であり続けて欲しいと願います。



